

事業名 CD	0107010203	小規模企業者小口資金融資事業	
細分化した事業名			
事業担当課室 CD	300400	商工観光課	整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	まちの賑わいをつくりだす商工業の振興	
	小項目	経営改善の支援	
関連する個別計画等		根拠条例等	小規模企業者小口資金融資促進条例
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	市内小規模企業者の経営の安定を図る
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市内小規模企業者・取扱金融機関
これまでの改善経過	平成14年~利用実績なし
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 <input checked="" type="checkbox"/>市 <input type="checkbox"/>委託 <input type="checkbox"/>補助金 <input type="checkbox"/>その他()</p> <p>①融資対象 市内に1年以上居住し、県内に店舗、工場又は事業所を有し、租税を完納している個人。 市内に1年以上店舗、工場又は事業所を有し、租税を完納している法人。</p> <p>②内容 使途(貸付限度額、利率)・・・事業運転資金(750万、年2.5%)、設備資金(750万、年2.7%)、事業緊急運転資金(50万、2.5%)</p> <p>③条件 無担保、無保証人(山梨県信用保証協会による保証が必要)※ただし、融資審査委員会の開催が必要</p> <p>④取扱金融機関 山梨県民信用組合韮崎支店、山梨中央銀行韮崎支店</p>
事業の成果 (どのような状態にしたいのか、どのような効果を得るのか)	市内小規模企業者の経営の安定を図る。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	0	0	0
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	0	0	0
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.00	0.00	0.35
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	0	0	
D	総事業費(A+C) (千円)	0	0	
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	74 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	融資件数	(件)		0	0
	問い合わせ件数	(件)		0	8
	広報掲載	(回)			1
成果指標	融資額	(円)		0	0
効率指標					

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input checked="" type="checkbox"/> C 妥当でない 融資に際して必要となる審査は金融機関及び信用保証協会により実施されているにもかかわらず、条例で定められている庁内審査委員会で融資の可否を諮ることにより、短時間で資金を必要とする借入希望者にとっても手間と時間がかかってしまう。借主が返済義務履行の場合には市に補償金支払い義務が生ずることもあり、制度自体が古びている。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない 国によるセーフティネット制度を利用した山梨県貸付金制度の充実や民間消費者金融による自動契約機などの普及により、市町村単独による融資制度の必要性は薄れている。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input checked="" type="checkbox"/> C 効率的でない 審査委員の委嘱や委員会での審査など、必要となる手間は効率的ではないうえ、信用保証協会や金融機関による二重実施となる。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 効率化（結果単位あたりのコストを下げる） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、または廃止する） <input type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）		
	(1) 中長期的 融資事業全体の見直し。	(2) 24年度 県と協議して事業の見直し。	(3) 23年度 県と協議して事業の検討。
	22年度の改善計画		
22年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 山梨県による商工業振興資金融資制度は利用者も多く、市では利子補給や保証料助成も実施している。市町村単独による融資制度はその必要性が薄れており、県融資制度利用者に対する利子補給等側面支援といった新たなスタンスが求められている。			
課長所見	この制度自体の発足を県が促してきた経緯があり、保証料の25%つつを県と市が補助するが、近年利用実績が無いことから県に相談したところ県でも見直しを検討しているので当面本制度は存続しておいて欲しい旨回答があり、今後の県の動向を注視して行く必要がある。		